

いしだ便り

第 18 号

2017 年 5 月 25 日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会



通常総会開催される

五月七日、石戸地区交流館ホールで多くの会員参加のもと開催されました。平成二十九年予算等が審議され原案とおりに決定承認されました。内容は次のとおりです。

■ 平成 29 年度予算

支出 3,937 千円の内訳 千円

総務広報費	150
環境防災費	130
健幸福祉費	170
地域活性化費	230
本部事業費	3,257
(主な内訳)	
ふるさと祭り	530
交流館運営	1,751
里山整美補助	300
総会、予備費	441

収入 3,937 千円の内訳 千円

会費	170
伊達市交付金	2,430
伊達市補助金	70
林野会助成金	50
振興会基金繰出金	1,000
繰越金	166
雑入	51



新規事業としてふるさと振興基金から各地区集会所修理費補助金及び里山整備に対する委託経費補助が決定しました。また、石田熊屋敷地内にある減容化施設に対する影響緩和基金(二億円)の用途事業について説明があり検討委員会で決定することになりました。質疑では、会員からは多くの要望や意見が有り盛会な総会となりました。更に今回の講演会では上小国に移住された樋口高志さんに「移住者の視点で見た霊山町」というテーマで講演をしていただきました。

この人 紹介します

こんにちは、石戸いきいきクラブの佐藤芳子です。今迄は石田便りを読むほうでしたが、今回は書くほうになって困っています。

いきいきクラブは皆元気で、中には九十歳以上の人も何人かいます。月二回を楽しみにしています。歌ったり、ゲームや折り紙をしたりみんな上下関係なく友達です。律子さんの指導でいろんなものを作ったり、又小学生やサロンの人達、すみれ会の皆さんとの交流をしたり楽しいです。

また、昼は、時々弁当をとって食べるのも楽しいです。外部からの慰問もあり、コーラスや紙芝居も年に一度あります。日帰りで温泉にも行きます。一年間いろいろなことがあります。

石戸いきいきクラブに入ってみたい方、どうぞお待ちしています。



ランタンを作りました

未来を伐り拓く【やまもり会】の成果 → 未来へ



里山の未来をつくるシフト
 自分が働くことで、
 地域の景観が美化されたり、
 消えつつあった文化や伝統を
 存続できたり、時代に合わなくなっていた、
 地域の産業のカタチを、新しく変えたり。
 お金以外の価値をみんなが
 創出するやりがいのあるシフト。
 それが、やまもり会の活動。

縛られない活動に集まる

【本気】の実践者たち

ちょっと昔、山と里は人の暮ら
 しでつながり合い、豊かで美しい
 「里山」が成り立っていました。
 しかし、生活様式の変化に伴い、
 人は山から離れ、仕事を求め地域
 を離れ、海外から輸入される化石
 燃料で生活するようになりまし
 た。その変化に伴い、里山は放置
 され、荒廃してしまいました。荒
 廃した景観と同じように未来に対
 する希望や可能性も放置されてし
 まったのかもしれない。

【やまもり会の主旨は

未来を伐り拓く行動の実践】

変化は、行動からしか創られま
 せん。まず、目指したのは「景観
 の整美」。整美された景観は、人
 の心までも美しく整え、未来へ変
 化を生み出すはずと行動しまし
 た。

山仕事に携わるということは、
 山の生態系を守ることにつながり
 ます。「山守」は、里山で暮らす
 人びとの未来を守ることと信念を
 持ち、今後も精進して参ります。



やまもり会が地域の未来を伐り拓くためにできること

竹林整美	いぐね伐採
杉林間伐	雑木林・薪炭林の再興
森林資源の6次化	自伐型林業家の育成

ご用命があれば見積りのみの対応も実施しております。利益追求ではない賛助金で活動する非営利
 団体です。お気軽にお問合せください。 連絡先：事務局 玉手まで (電話：080-2830-0271)

総務広報委員会

新年度の総会も完了し、当委員会では新たな各地区行政推進委員の方々に、ご協力をいただきます。単独の行事計画は無く本部及び各委員会などの支援に力を注いでいます。計画の中では、石田のふるさと祭り、が大きな行事となります。

ホームページを是非観てください。随時更新して居ります。皆さんからの地域の問題をお待ちしています。

健幸福社委員会

石田っこクラブでは一二月にクリスマス会を実施しました。スコップケーキを作ったり、盛りだくさんの景品を用意してビンゴゲーム大会をしたりして楽しみました。また、今後の活動として一月にはお正月遊び、二月は大学生との交流会など企画しています。石田っこクラブでは調理補助等のお手伝いができる方を募集しています。石田の子供達とふれあいながら活動に参加してみませんか。交流館まで連絡お待ちしております。

地域活性化委員会

五月三日、霊山神社の足立宮司によるお祓いの後、霊山の山開きが行われ、清掃登山後、芋

煮をふるまい今年度最初の活動をしました。

今年は石田のいいところ写真コンテストを開催します。豪華商品を用意しておりますので、どんどん応募してください。石戸地区交流館で10月末まで受付しています。

環境防災委員会

昨年度は、多くの方々のご協力により、念願の第一回防災避難訓練を実施することが出来ました。今年度も昨年度と同様に第二回目の避難訓練を実施する予定です。また、恒例となりました彼岸花の植え付けも実施の予定です。早期に植えつけられました彼岸花は見事な花を咲かせ始めました。ご協力のほどよろしくお願い致します。

さらに、今年度はハザードマップ作成を検討しています。皆様のご協力をお願いします。

石田育成会から

育成会長 永井 勲

石田育成会です。私たち石田育成会は地域の子供達のため、事業を計画し年間四回ほどの廃品回収(段ボール、古新聞紙、雑誌など)を行い、その収入を元に夏休みのレクリエーション、年度末には小中学生の卒業生を送る会などを行っています。

年間四回ほどの廃品回収が主な収入源になり

ます。毎回、事前に廃品回収のお知らせは、各家庭に届いていると思いますので、地域の皆様のご協力をお願いします。

石田の宝特集 十四 「三十三観音様のお祭り」

石田便りの頭刊で紹介した小石田紫薇窪の三十三観音で地域の有志の人たちが協力して盛大なお祭りを5月中に行うそうです。

周りをきれいに整備して赤い小旗が参道を取り巻き観音様もさぞ喜んでいられるのではと思います。数十年いや、それ以上の沈黙を破ってにぎやかにお祭りができることを願っています。ぜひお参りに行きたいです。



三十三観音参道

ふる里の味レシビ作り

草餅

旧の桃の節句（ひな祭り）には、草餅をつくります。ヨモギ（もち草）の新芽を摘み、重曹で柔らかく色よく茹でて水にさらしてからよく絞り細かく切って、蒸かした餅米に混ぜ、餅をつきます。つきあがった草餅は、緑色が鮮やかで風味豊かな香りが春の訪れを感じさせてくれます。レシビ作りでは、ヨモギの量がどのくらいあれば一番美味しく食べられるかを重視して調理をしました。

節句の日には、お嫁さんが実家に帰る時に桃の花を添えて持たせてもらったそうです。



草餅と桃の花

相馬福島道路一部開通

三月二十六日、午後三時三十分玉野、山上間の開通を待つて走行してみました。真新しい道路は綺麗でとても気持ちよく走れました。10.5キロ区間はトンネルと橋がほとんどで

難工事であったと思われる。トンネル内は対面交通の仕切りがポールでなく高さが1mほどのコンクリート擁壁で対向車線との安全が図られていました。カーブ、勾配も緩やかでとても走りやすくなっており今までの難所区間とは比べようもないくらい良くなりました。来年は小国まで完成しますので楽しみですが、石田地区が忘れられないよう魅力ある地域にしなければと思います。



相馬市山上地区乗入口

学校のお知らせ

平成二十九年年度、石田小学校は児童十八名、教職員九名でスタートいたしました。橘内俊英校長先生のもと、全職員一丸となって児童の育成に努めてまいります。今年度のスローガンは「ともに高めあう」です。他と関わり合いながら意識や考えを深め、よりよい未来を切り開いていこうとする児童を目指します。五月の運動会、十月の学習発表会など、

地域の方々に、子供たちの成長の様子を見ていただければ幸いです。



入学式

編集後記

春は水仙、秋は彼岸花をキャッチフレーズに、毎年進めてきた植栽作業の成果から、国道沿いや集落の道端に咲く黄色い水仙の花も年々数を増し、今年も石田の里に花で彩られた春がおとずれました。また、原発事故から出荷制限されていた農産物も、大多数が出荷制限を解除され、事故前の環境に戻りつつあります。一日も早く安心して暮らす石田に戻れることを願うものであります。



普光寺下の水仙